



檜原学園
Hinohara Gakuen

檜小だより

檜原学園檜原小学校



3月号

令和4年度

3月1日(水)

ホームページアドレス <http://rlco.jp/hinoharasyougakkou/>

内なる自分との戦い

校長 下川 耕史

1月22日に、日本が誇る車いすテニスのトッププレーヤーである国枝慎吾選手が引退されました。経歴を見れば、主だったものを並べるだけでも一目瞭然、輝かしい成績を残されていると改めて感じました。

- 06年に初めて世界ランキング1位獲得
- 五輪シングルスは08年北京、12年ロンドン、20年東京で金メダル
- 07年車いすテニス界史上初の年間グランドスラム達成
以降5度のシングルス年間グランドスラム達成
- 4大会シングルス28勝、ダブルスを含めれば通算50勝は歴代最多

20年近く世界のトップに君臨してきた中、惜しまれながらラケットを置かれました。

国枝選手は、最初から車いすで生活していたわけではありません。9歳の時に脊髄腫瘍のため車いす生活になり、11歳から車いすテニスを始めたそうです。自身の障害を乗り越えて競技に打ち込んだ姿勢にまず頭が下がります。そして、有名なパワーワード「俺は最強だ!」。成績を見ればもちろん最強ですが、伸び悩んだ時期もあったそうです。そんな時、オーストラリア人のメンタルトレーナー、アン・クイン氏より、「『ナンバーワンになりたい』じゃなくて、これからは『俺がナンバーワンだ』と断言するトレーニングを始めましょう」と指導されたそうです。毎日鏡に向かって「俺は最強だ!」と叫び、試合の時には、白いテープに「俺は最強だ!」と手書きで書いてラケットの内側に貼っていたという逸話も有名です。Adoさんの楽曲「私は最強」のヒットも記憶に新しく、この半年「最強」を叫んだ方はたくさんいると思います。自身を鼓舞し、高揚感を得られますが、叫んでいれば駆け上がれるというものではないでしょう。国枝選手は「最強」と叫び続けながら、「自分はまだパーフェクトな選手じゃない」とも常々言っていたそうです。課題を追い求める中で、「心と身体を突き動かすのは、対戦相手ではなく、内なる自分との戦いだ」と、努力の天才と言われるほど熱心に練習に打ち込みました。努力の裏打ちがあるからこそ、この言葉が力になったのだと思います。

生きていく中で、自身を変えていくために、他者や周囲の環境との関わりから刺激を受けることで大きなエネルギーとすることはよくあります。しかし、大きなエネルギーを受けてなお、最終的にそれを糧とできるかどうかは自分との戦いとなります。自分を動かす、或いは動かし続けることが難しいことは、誰もが経験していることでしょう。その孤独な戦いを肩代わりすることはできませんが、励まし、支えることはできます。国枝選手も、コーチやサポーターの方々に背中を押されたことはたくさんあったはずですが、中でも、国枝選手のパートナーである愛さんは、アスリートフードマイスターの資格を取得し、海外遠征にも帯同するなど、国枝選手を支え続けてきました。引退に添えた言葉は、「我がサポートに一片の悔いなし!引退おめでとう」だったそうです。学校も、子供たち一人一人のサポーターとして、来年度も誠心誠意尽力して参ります。

最後になりますが、保護者、地域の皆様には、この1年間ご理解とご協力をいただきましたこと深く御礼申し上げます。そしてまた4月からの檜原学園の教育活動への応援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

(参考) 日本が誇る車いすテニス界のトッププレーヤー (パラサポWEB)

3月の生活目標

1年間のしめくりをしっかりと

令和4年度も残り一月となりました。3月は1年間のまとめの月であると同時に、進級に向けた準備の月でもあります。学校では、卒業や進級に向けての準備が始まりました。一人一人の成長を振り返り、自信をもって、進学・進級できるよう、励ましていきます。

慌ただしい状況の中でも、落ち着いて生活し、しっかりと最後のしめくりができるよう、ご家庭におかれましても、子供たちへの励ましの声掛けをよろしくお願い致します。

生活指導部 新藤 智美

「ちゃぼすけ」引き継ぎ式

本校では、生き物を大切にする心を育成するために、毎年4年生が飼育委員会の活動を行っています。今年も4年生が「ちゃぼすけ」の飼育を行ってきました。

2月16日に、来年度「ちゃぼすけ」のお世話をする3年生に向けて、引き継ぎ式を行いました。4年生は、劇やクイズを取り入れながら、工夫して3年生に伝えることができました。



4年担任 根本 夕芽

6年社会科見学

6年生は、2月17日に小学校最後の社会科見学に行ってきました。科学技術館では、見るだけでなく、触ったり動かしたり、遊べる展示がいっぱいありました。他校の児童もいましたが最後の30分は檜原小のみになり、ほぼ貸し切り状態で楽しむことができました。また、重要文化財でもある清水門まで散策し、北の丸公園で昼食をとった後、国会議事堂へ向かいました。参議院の本会議場では、明治時代に構想し、昭和11年に完成したという背景を感じる荘厳さがありました。テレビでしか見たことがない情景を目の当たりし、少し緊張気味の6年生でした。最後の大きな行事を終え、卒業式に向けて気持ちを高めることができました。

6年担任 堀本太郎



研究の取組

「算数科における確かな学力を育成する指導の工夫」
～自ら考え、表現する活動を通して～

昨年度に引き続き、檜原小学校では、算数科において自分の考えを適切に表現し伝え合う活動を通して、学びを深め、確かな学力を育成することができるよう研究を進めてきました。

今年度は1・3・5年生で研究授業を行いました。問題提示を工夫したり、意図的な対話を取り入れたりすることによって、子供たちは主体的に問題に取り組み、自分の考えを適切に表現できるようになってきました。来年度も子供たちの力が伸ばせるように、教員も授業力の向上に努めていきたいと思ひます。

研究部 工藤 由里子



卒業式の予定について

- 日時 令和5年3月23日(木)
午前8時45分 卒業生保護者受付開始
午前9時15分 開式
- ※ 全校児童が参加して6年生の卒業をお祝いします。
1～5年生は通常登校です。尚、給食はありません。
- ※ 1～5年生の下校バスは以下の予定です。
式の状況により、下校バスが変わります。
 - ・北10:23 (小前) または11:55 (小前)
 - ・南10:57 (小前)
 - ・東10:58 (小前)